

経営比較分析表（令和4年度決算）

千葉県松戸市 松戸市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	I未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
497,120	47,021	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
592	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	8	600
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
506	-	506

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (病床の再編・ネットワーク配置等)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療を中心とし、一般診療のほか、救命救急医療、小児産科医療、がん診療など高度急性期医療を担うとともに、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」として新型コロナウイルス感染症患者専用病床を確保し、積極的に受入れをし、良質で安全且つ安心な医療サービスを提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

主に、入院収益について、患者数及び患者1人1日当たり収益が増え、増収となり、医業収支比率は上昇。しかしながら、新型コロナウイルス感染症関連の病床確保料の減少等により、医業外収益が減少し、経常収支比率は低下。引き続き、収益の増加及び費用の適正化に努め、収支の改善を図っていく。

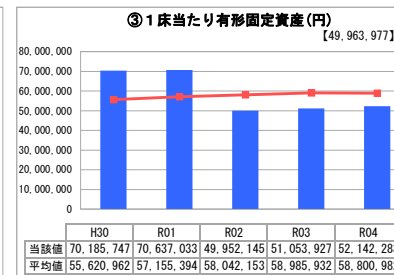
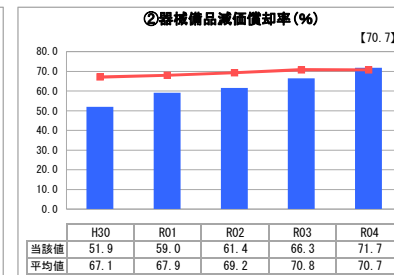
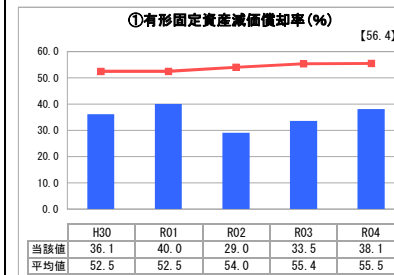
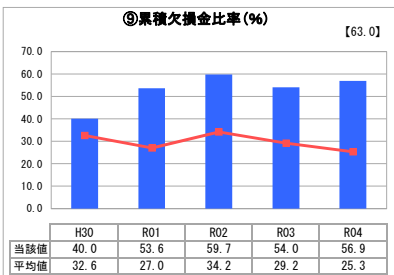
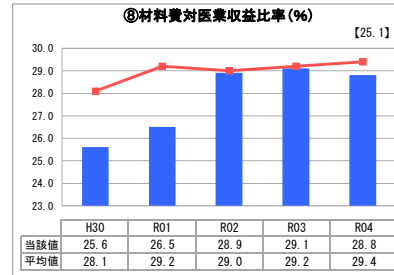
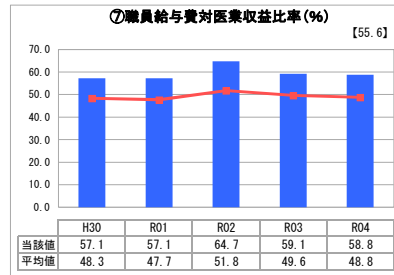
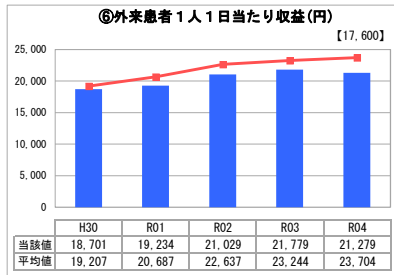
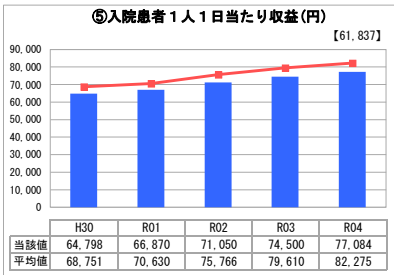
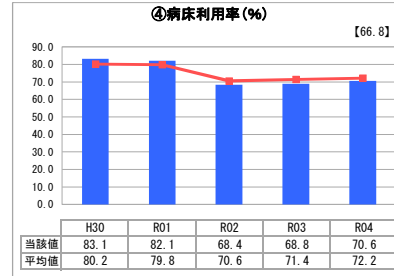
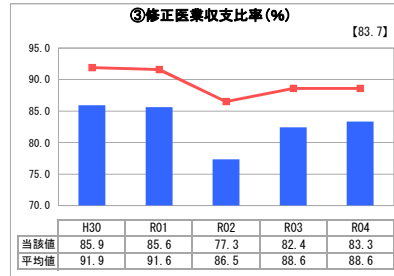
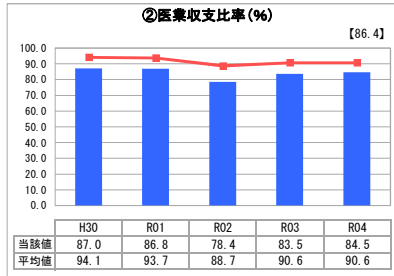
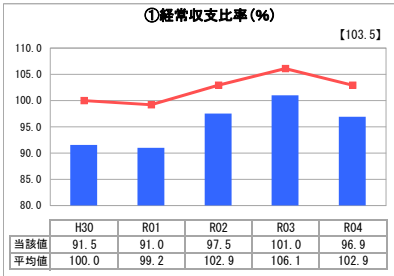
2. 老朽化の状況について

平成29年12月に病院の新築移転をし、また、令和2年度に旧病院跡地を売却しており、有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。

全体総括

経営の健全性・効率性については、新公立病院改革プランとして策定している経営計画に基づき、救急医療の強化、地域医療支援病院機能の強化、手術部門の強化等の推進により、医療の質の向上を図り、患者数及び患者1人1日当たりの収益の増加を確保していくとともに、費用の適正化にも取り組む。
老朽化の状況については、平成29年12月に病院の新築移転をしており、建物等の老朽化の度合いは低い。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。